

しが「読み解く力」～実践編～ 【小学校 音楽科】

- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



【小学校：音楽科】

「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる
「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

- ◇児童が音楽に関する用語等を用いて、音楽によって喚起されたイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図等を相互に伝え合う活動を取り入れているか。

- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



題材名 がっきのおとをたのしもう

(1) 打楽器の特徴や、曲想と打楽器の音色やリズムなどの特徴との関わりに気付くとともに、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。

(2) 打楽器の音色を生かした音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、様子を表す音楽の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。

題材名 がっきのおとをたのしもう

(3) 打楽器の音色やリズムに興味をもち、協働して音遊びをしたり楽しく音楽を聴いたりする学習に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。

- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



第1次 (①)

打楽器による音遊びを通して、様々な音の特徴に気付く。

第2次 (②③)

打楽器の音色やリズムなどの特徴を手掛かりに時計の様子を想像し、曲の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴く。

第3次 (④⑤)

打楽器の音色を生かした音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ながら即興的に表現する。

- ①音遊びを通して、身近な打楽器の音色や音の特徴に気付く。
- ②曲想と打楽器の音色やリズムなどの特徴との関わりに気付いて聴く。（本時）
- ③様子を表す音楽の楽しさを見いだしながら、曲全体を味わって聴く。
- ④時計の様子を思い浮かべながら、即興的に表現し、音楽づくりの発想を得る。
- ⑤音楽づくりの発想を生かし、設定した条件に基づいて即興的に表現する。



- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 **本時の目標**
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

「シンコペーテッド・クロック」で使われている
楽器の音色やリズムの特徴と曲想との関わりに気
付くことができる。



- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ**
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



- ア 「シンコペーテッド・クロック」のはじめの部分に出てくるウッドブロックの音を聴き取る。
- イ 続きの部分で他の楽器の音をさがす。
- ウ 曲想を感じる。
- エ 友だちの気付きを知る。
- オ 自分で気付きを確かめる。

【課題を見つける】 「シンコペーテッド・ク
ロック」のはじめの部分に出てくるウッドブ
ロックの音を聴き取る。

【見通しをもつ】 続きで他の楽器の音をさがす。

【自分で考える】 曲想を感じる。

【共に学び合う】 友だちの気付きを知る。

【学習をまとめる】 自分で気付きを確かめる。

課題発見・解決のプロセス 課題を見つける ≧ 見通しをもつ ≧ 自分で考える ≧ 共に学び合う ≧ 学習を
まとめる ≧ 学習を振り返る ≧ 新たな課題を見つける



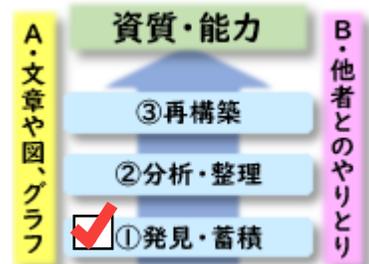
- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



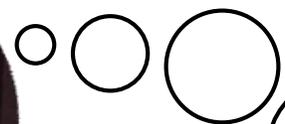
- ・ 曲から、どんな音やリズムがするか聴き取ろうとする姿。(A①)
- ・ 友だちとの交流の中で、気付かなかった音やリズムを曲想と関連付けようとする姿。(A②・B②)
- ・ 再度、曲を鑑賞することで自分の気付きと友だちの気付きを照らし合わせ、自分の考えを再構築する姿。(A③・B③)

- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ





○ウッドブロックの音やリズムに着目する場面



カッコ・カッコって
聴こえるよ。



2つ音が聴こえるな。





カッコ・カッコって聴こえたよ。

2つの音が聴こえたと思います。



「カッコ」と聴こえたのはどんなリズムかな。2つの音はどんな音色でしたか。

○他の楽器の音やリズムに着目する場面



途中でリズムが変わった！

あれっ。いろいろな音がする。
ジリジリって何だろう。

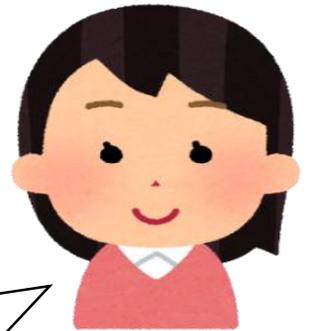




曲の「はじめ」と「なか」で
リズムが変化しました！



違う楽器の音が聴こえました。
ジリジリって、時計のベルのようでした。



同じ考えでしたか。本当にそうでしたか。

○自分の考えを再構築する場面



曲の「はじめ」と「なか」でリズムが変わることによって雰囲気も変わるんだ！

どんな楽器かわかったよ。音色が楽器によって違うからおもしろい。



- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



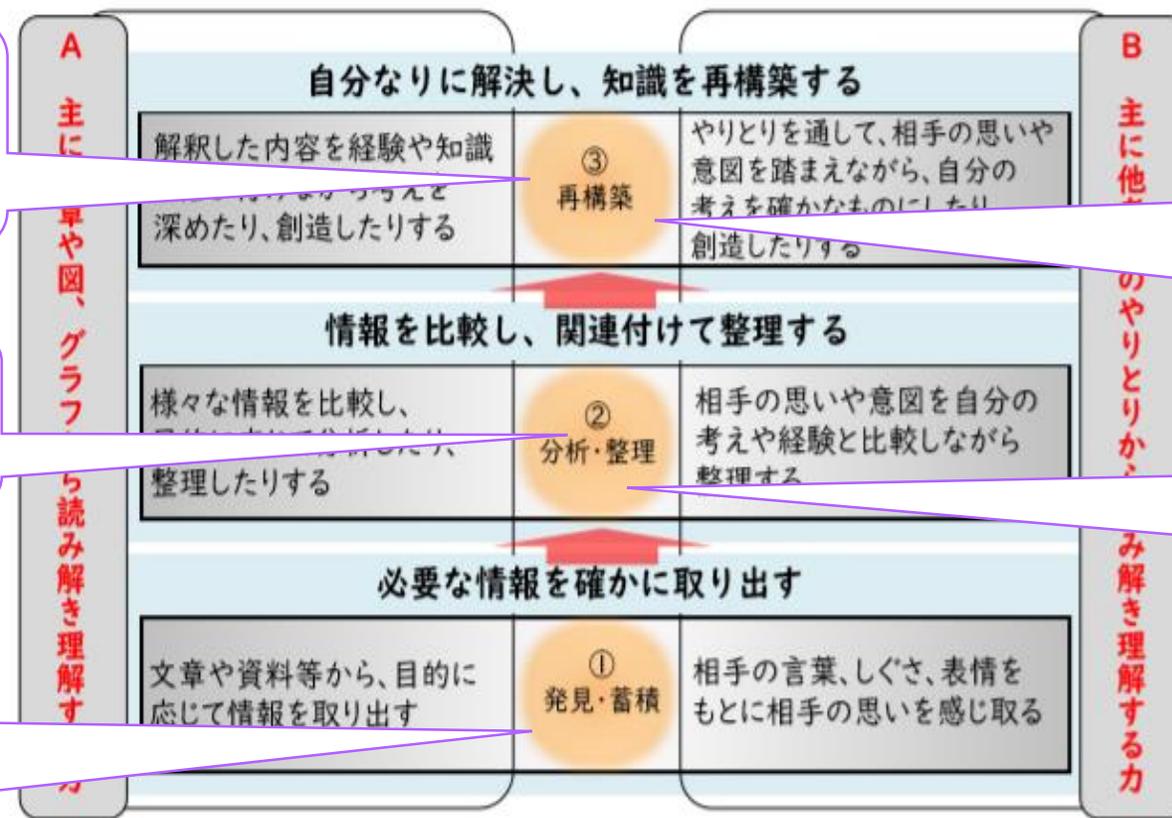
【本時で身に付けたい資質・能力】

打楽器の音色やリズムなどの特徴を手掛かりに時計の様子を想像し、曲の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴くことができる。

「はじめ」と「なか」でリズムが変わることで曲の雰囲気も変わるな。

途中からリズムが変わったかな？

- ・カッコって聴こえるよ。
- ・2つの音が聴こえるよ。
- ・違う音が聴こえた。



音色が楽器によって違うからおもしろい・・・
どんな楽器か、わかったよ。

〇〇さんが聴いた音を、しっかり聴いて探してみよう。時計のどんな感じかな？

目的意識

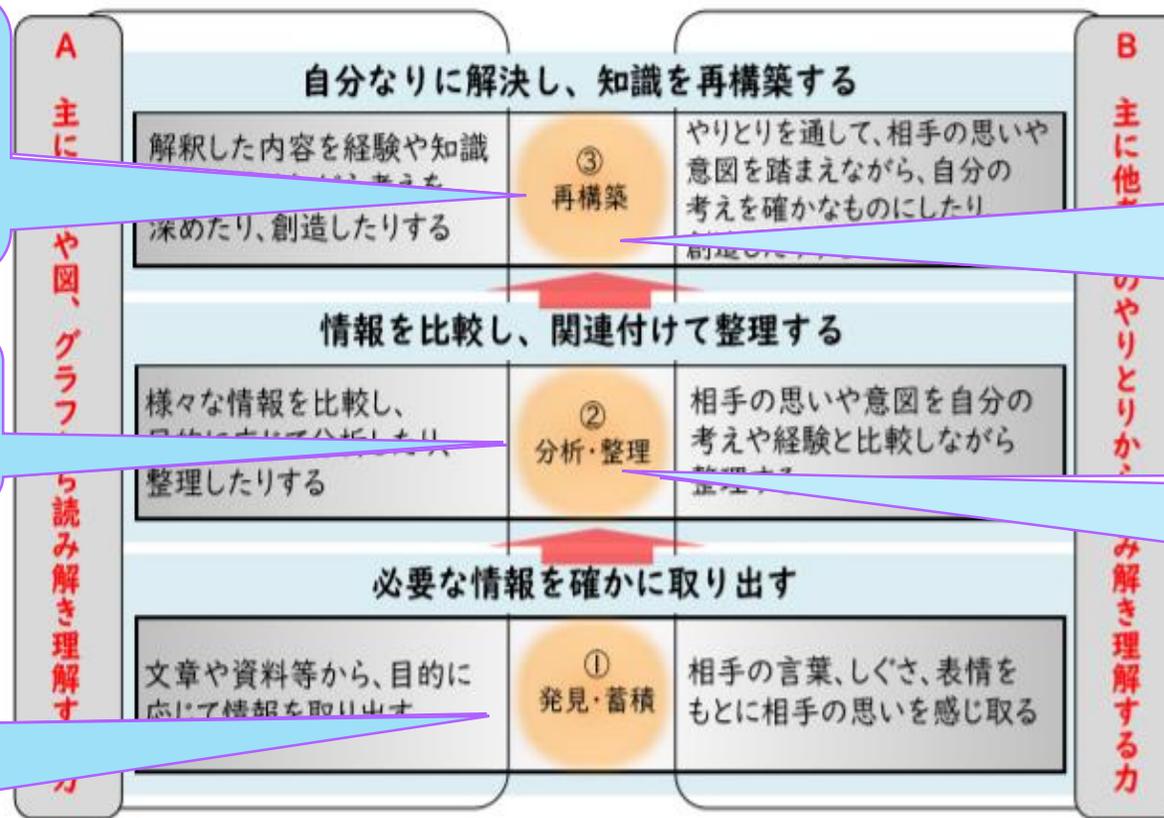
【本時で身に付けたい資質・能力】

打楽器の音色やリズムなどの特徴を手掛かりに時計の様子を想像し、曲の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴くことができる。

前時までの知識や、曲を鑑賞して気付いたことが曲想に結びついていることを知る。

聴き取った情報と楽譜を確認しながら整理する。

曲を鑑賞して、「音楽を形づくっている要素」を聴き取る。



相手の気づきから、自分の考えを広げていく。

相手の考えや情報と楽譜を比較する。

目的意識